

正覚寺寺報

発行者
浄土宗 十劫山 正覚寺
〒020-0066
岩手県盛岡市上田
2丁目5-12
TEL 019-624-5001
FAX 019-624-5003
発行
令和6年5月

前住職 葬儀の報告とご厚情に感謝



前住職、柴内興信が昨年、十二月十二日に他界し、本葬を三月二十九日に執り行いました。葬儀委員長 熊谷昭治様 副葬儀委員長 太田 巖様 川村 功様 婦人会長 若澤陽子様をはじめとする檀家様のご協力により、執り行うことができました。ここに御礼申し上げます。

本葬に間に合うように本堂幕などの御寄進をいただきました。多数の弔電、お花、リング、お菓子等々のお供物も頂戴しました。当日は悪天候でしたが多くのご会葬者様のご参列をいただき、県内外より、三十名以上の住職による読経の中、厳粛に葬儀が行われました。

正覚寺婦人会の皆様からは、御詠歌の奉納を頂き、浄土宗、知恩院、増上寺に加えて、友人代表として大船渡市市議会副議長の船野章様が弔辞をお読みいただきました。先代の人柄が偲ばれ、再び惜別の思いが深まりました。

本人は、英語の本が好きで、老後は、孫達に英語を教えるのを生きがいにしておりましたので、戒名が「英教興信」となっております。先代住職 眞譽興信が生前に賜りましたご芳情に厚く御礼申し上げます。

正覚寺婦人会より御詠歌をいただきました

十劫山 正覚寺住職
柴内 宏 治

大日如来第一鳥居(盛岡加賀野)に20万円を寄付



当寺所蔵の大日如来様は、盛岡城の守佛として城内に安置されておりました。しかし城内では諸人の参詣が出来ないので、南部二十九代重信公が延宝七年(一六七九)加賀野に遷座し、妙泉寺本尊としました。盛岡山伏によって加持され、玉台院様をはじめ多くの人々の崇敬を集めました。

しかし、明治維新後、妙泉寺は廃寺となり、仏様は正覚寺に遷座しました。これに落胆した加賀野の人々の為に、光臺寺御住職が蟻塔庵を加賀野に移し、大日如来様への信仰場とし、岳神楽を奉納するお祭りが、今日まで続いており

そうした中、平成二十六年の台風によって、第一の大鳥居が倒壊し、石碑も自動車事故によって破壊されました。これを再建すべく大日如来講中会 会長 佐々木幹郎様 副会長 東野久松様をはじめとする方々が立ち上がり、正覚寺にご訪問くださいました。

当寺も些少ではありますが、金二十万円を志納することになりました。総工費九百三十万円に

よって令和五年、見事に完成しましたのでご報告いたします。正覚寺檀家の皆様も、近くに立ち寄った際には、お参りください。

和洋女子大学同窓会「むら竹会」岩手県支部長の菊池房江先生により、高橋貞夫先生の木彫「夢行」が正覚寺に寄進されました。高橋先生は、日展特別会員、旭日双光章受賞、木芸の世界を代表する作家の先生であり、内閣総理大臣賞を受賞されております。先生の作品は長野善光寺、京都三千院に展示されています。

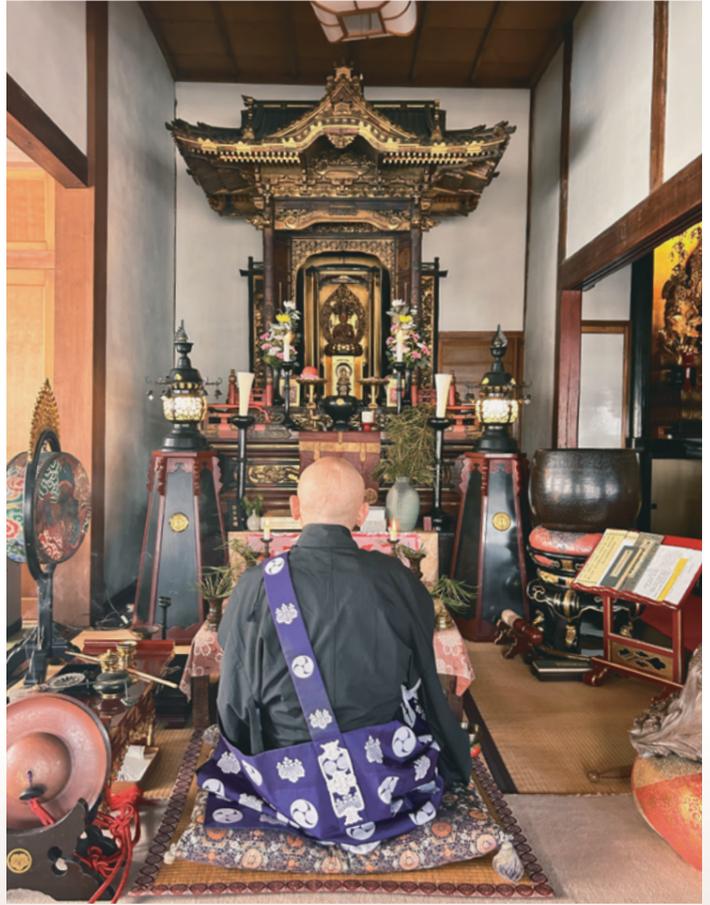
この作品のテーマは「大自然、祈りの心」であり、木と漆を組み合わせた立体的で躍動感のある作品です。作品「夢行」は、第五十八回現代工芸美術展に出品されました。菊池先生は、高橋先生とご親交が深く、岩手工芸美術協会の会長をなさっています。

このような高橋先生の大作が菊池先生のお力により正覚寺に寄贈され、会館ロビー一階に展示されていますので是非ご覧ください。



菊池房江様より美術作品が寄贈

大日尊祈願会のお知らせ



当寺では、毎月二十八日に、大日如来祈禱を厳修しています。

当寺の大日如来様は、元々は盛岡城の守り本尊でしたが、当寺と深いご縁があり、ご本尊として迎え、現在に至っています。

大日如来は、密教の主尊で、祈願や回向（供養）などの全てを司る根本仏です。

浄土宗では大日如来をお祀りする修法がありませんので、今までは祈願会を開庭していませんでしたが、この度、高野山で修行を積んだ阿闍梨とご縁があり、祈願祈禱を執行行っています。

浄土宗の当寺で、密教の修法が厳修されることに違和感を抱かれる檀家さんいらっしゃるかと思しますので、全国的に有名な善光寺（長野市）などを例にご理解を深めていただきます。

善光寺では、毎日、本堂で、浄土宗の僧侶による朝、昼のお勤めと、天台宗の僧侶による朝、昼のお勤め（天台密教）が厳修されています。

また、お遍路で有名な四国八十八か所霊場の寺院には、曹洞宗や天台宗などの寺院もあり、そこでも、密教修法が併修されています。当寺で、浄土の儀軌によって普段執行行われ

ている年忌法要や先祖供養、水子供養などは、家門繁栄の基といわれており、とても大切なことです。また、濁世を生きている私どもにとって、現世の願い事の成就を願う気持ちを持つことは、これもまた当然のことでしょう。

大日如来様に一心に祈願することで、ご自身の「功德の力」が高まり、それを深く感じ取られた大日如来様の「加持の力」が加わり、更に全宇宙的な「法界の力」が働き、究極、この三方の合力によって、願い事が成就されます。

どうぞ、大日如来様の力を信じ、ご自身のためはもとより、お子さんのため、お孫さんのため、あるいは、ペットのために、延命長寿、病氣平癒、いじめなどの厄災除け、開運招福、学業成就などの皆様の様々な心願成就、所願成辨を御祈願してはいかがでしょうか。私共は、檀信徒の皆様をはじめ、広く有縁の方々様々なお願い事を、大日如来様にお届けする役割を、誠心誠意務めさせていただきます。

大日尊祈願会 毎月二十八日 午前十時開庭

文責 高橋 真栄

新役員のご紹介

令和六年度より

相談役	袴田 茂
相談役	高橋 宏
会長	熊谷 昭治
副会長	太田 巖
副会長	榎山 直孝
総務理事	鈴木 幸雄
理事	川村 功祐
理事	高村 幸祐
理事	若澤 陽子
理事	高橋 真栄
理事	今野 惠子
会計監事	名久井 淳
会計監事	

令和五年度御寄進

本堂白幕
今野 恵子 様
船山 家 様
宮殿一式
武原 家 様
為 鉄嶺院和順正徳善居士
追善供養



盛岡市内でも熊の目撃が増えてきました。

画：檀家さんの野里 隆様

お知らせ

正覚寺の会館、施設は檀家様限定でご遺体の安置、通夜会場、法要、法事会場としてご利用できます。盛岡駅、病院、火葬場にも近く便利な場所ですので、どうぞご利用ください。



令和五年度正覚寺より浄土宗への課金等 五十六万円
能登地震へのお見舞い金 盛岡市仏教会より百万円

2024年回表

一周忌	令和5年	2023年
三回忌	令和4年	2022年
七回忌	平成30年	2018年
十三回忌	平成24年	2012年
十七回忌	平成20年	2008年
二十三回忌	平成14年	2002年
二十七回忌	平成10年	1998年
三十三回忌	平成4年	1992年
三十七回忌	昭和63年	1988年
四十三回忌	昭和57年	1982年
四十七回忌	昭和53年	1978年
五十回忌	昭和50年	1975年

令和6年度(2024)十劫山正覚寺年間行事予定

- 7月10日(水) 10時30分 施餓鬼 法話・御詠歌・法要御齋
- 8月13日(火) 迎え盆
- 8月16日(金) 送り盆
- 9月19日(木) 秋彼岸入り
- 9月22日(日) 彼岸中日
- 9月25日(水) 秋彼岸明け
- 10月10日(木) 10時30分 お十夜 法話・御詠歌・法要御齋
- 12月31日(火) 11時 年末法要 新亡霊位の回向
- 1月1日(水) 11時 修正会 家内安全無病息災
- 3月17日(月) 春彼岸入り
- 3月20日(木) 彼岸中日
- 3月23日(日) 春彼岸明け
- 4月10日(木) 10時 御忌 法話・御詠歌・法要御齋